



令和6年4月8日
4月号 No.458
発行責任者
校長 西村 学徳
所在地 福生市熊川623

新年度を迎えるにあたって

校長 西村 学徳

暖かな春風に桜の花びらが美しく舞う中、新入生59名を迎え、全校児童410名で令和6年度がスタートしました。この度、福生第三小学校より昇任で参りました

西村学徳と申します。平成28～30年度までの3年間、本校で担任を務めさせていただいた経験があり、5年の月日を経て、大好きな福生第二小学校に再び着任させていただけたことに感謝しています。

さて、私が本校の学校経営において、今年度、大切にしていきたいキーワードは、「感動」と「安心」です。子どもたちは学校生活において様々な経験をします。その中で、新しいことを学ぶ喜び、友達や先生、地域の方と関わることの楽しさ等、「感動」体験をたくさん積み重ねられるようにしていきたいと思えます。「感動」体験が子どもたちのよりよい成長に大切であると考えているからです。「感動」が溢れる福生二小となるよう、教育活動を工夫していきます。また、全てのお子様は、各ご家庭の宝です。学校はその宝をお預かりする大きな責任があります。子どもたちにとって「安心」して通える、保護者の皆様にとってお子様を「安心」して通わせられる学校づくりを行っていきます。

そして、これまで福生二小が築いてきた素晴らしい伝統を大切にしながら、子どもたちや保護者・地域の皆様と一緒に新たな1ページを創造していきたいと思っています。福生二小の子どもたちのために教職員一丸となって教育活動を推進していきます。どうぞよろしくお願いいたします。

最後になりますが、今年度は、創立150周年の記念すべき年度、節目の年度となります。昨年度より、式典等の周年行事に向けた準備が着実に進められてきています。一つ一つの取組が子どもたちや保護者・地域の皆様にとって、福生二小への愛着が深まる機会となるようにしたいと考えています。引き続きのご支援・ご協力の程、どうぞよろしくお願いいたします。

本校の教育目標

◎よく考える子（重点） ○思いやりのある子 ○体を大切にする子

これらの目標の達成に向けて、本年度の具体的な目標は以下のとおりです。

- I 教職員の資質や組織運営力を高め、カリキュラム・マネジメント、ICTを積極的かつ効率的に活用し、「個別最適な学び・協働的な学び」の実現に向けた教育を目指す。
- II 人権尊重教育推進校（R3・4年度）としての成果を継承し、児童が自分を大切に、相手を思いやる豊かな人間関係形成力を育む教育を推進する。
- III CS指定校としての運用を活性化させ、保護者・地域、関係機関との連携や協働的な教育活動を展開し、体験型学習の導入、教育活動の一層の充実を図る。